

第三次南箕輪村子ども読書活動推進計画



平成30年3月

南箕輪村教育委員会

第三次南箕輪村子ども読書活動推進計画

目 次

第1章	はじめに	2
第2章	第二次計画期間（平成25年度～平成29年度）における取組・成果と課題	3
1	第二次計画の目標	3
2	第二次計画の成果	3
3	保育園・学校・地域における取組・成果と課題	6
(1)	保育園における子どもの読書活動	6
(2)	学校における子どもの読書活動	6
(3)	地域における子どもの読書活動	9
第3章	南箕輪村における子どもの読書活動の現状 ～子どもの読書活動に関するアンケート調査結果～	10
第4章	第三次計画の基本方針・目標	20
第5章	第三次計画推進のための方策	22
1	家庭における子どもの読書活動の推進	22
2	保育園における子どもの読書活動の推進	22
3	学校における子どもの読書活動の推進	23
ア	小学校における子どもの読書活動の推進	24
イ	中学校における子どもの読書活動の推進	25
4	地域における子どもの読書活動の推進	26
(1)	図書館における子どもの読書活動の推進	26
(2)	保健センターにおける子どもの読書活動の推進	27
(3)	地域の子育て支援活動拠点等における子どもの読書活動の推進	27
第6章	広報・啓発活動	28
第7章	関係機関との連携・協力	28
《資料編》		
・用語解説		
・南箕輪村における子どもの読書活動に関するアンケート調査結果（南箕輪村図書館ウェブサイト『資料編』を参照）		
＊を付した用語の解説は、資料編をご覧ください。		

第1章 はじめに

子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」（「子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条）であり、社会全体で積極的にそのための環境整備を推進していくことは極めて重要なことです。

近年、情報メディアの発達・普及により子どもの読書離れが指摘される一方で、社会が急激に変化し、複雑化していく状況において、子どもにとって読書活動は「子どもが未来をたくましく切り拓くための活力の源となる」（「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」）ことが、改めて認識されています。

国は、子どもの読書活動を推進するため、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定し、この法律に基づき、平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を、平成20年3月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第二次）」を策定しました。続いて平成25年3月には社会全体で子どもの自主的な読書活動の推進を図る取組を推進する「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第三次）」を策定しています。

長野県においても、国の動向を踏まえ、平成16年4月に「長野県子ども読書活動推進計画」を、平成21年3月に「第2次長野県子ども読書活動推進計画」を策定しました。平成27年3月には「子どもたちが本に親しみ、豊かな心と生きる力を育むために」という理念を掲げた「第3次長野県子ども読書活動推進計画」を策定しています。

本村では、こうした国と県の動向を踏まえ、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項の規定に基づき、平成19年4月に「南箕輪村子ども読書活動推進計画」（平成19年度～平成23年度）を、続いて平成25年3月に「第二次南箕輪村子ども読書活動推進計画」（平成25年度～平成29年度）を策定し、家庭、保育園、学校、地域（図書館、保健センター等）において子どもの読書活動の推進に取り組んできました。

このたび、第二次南箕輪村読書活動推進計画（以下「第二次計画」という。）の終了に伴い、第二次計画の方針を継承しながら、第二次計画で取り組んできた成果と課題を踏まえ、「第三次南箕輪村子ども読書活動推進計画」（以下「第三次計画」）を策定します。第三次計画は、南箕輪村第5次総合計画、国と県の三次計画との整合性を図っていきます。

第2章 第二次計画期間（平成25年度～平成29年度）における取組・成果と課題

南箕輪村では、平成25年度から平成29年度までの5年間、子どもの読書活動を推進させるため、家庭、保育園、学校、地域（図書館、保健センター）等の関係機関がより密に連携・協力して、子どもの読書活動の普及に取り組んできました。これまでの取組・成果と課題を整理しました。

1 第二次計画の目標

第二次計画の目標

1 計画の基本目標

家族みんなで本に親しもう

2 村ぐるみの取組項目

- ・ 週1回、家族みんなで楽しく読書
- ・ 毎月23日は、ノーテレビデー・ノーゲームデー＊・家族で読書の日
- ・ 読書週間（10月27日～11月9日）は村ぐるみで読書推進

3 計画の数値目標

保育園児 ■家で週に絵本を読んでもらう回数の割合

（平成24年度調査）週2回以下 37.2%→（平成29年度）1割減

小学生 ■学校以外で、1か月に読む本の冊数の割合

（平成24年度調査）月2冊以下 35.4%→（平成29年度）1割減

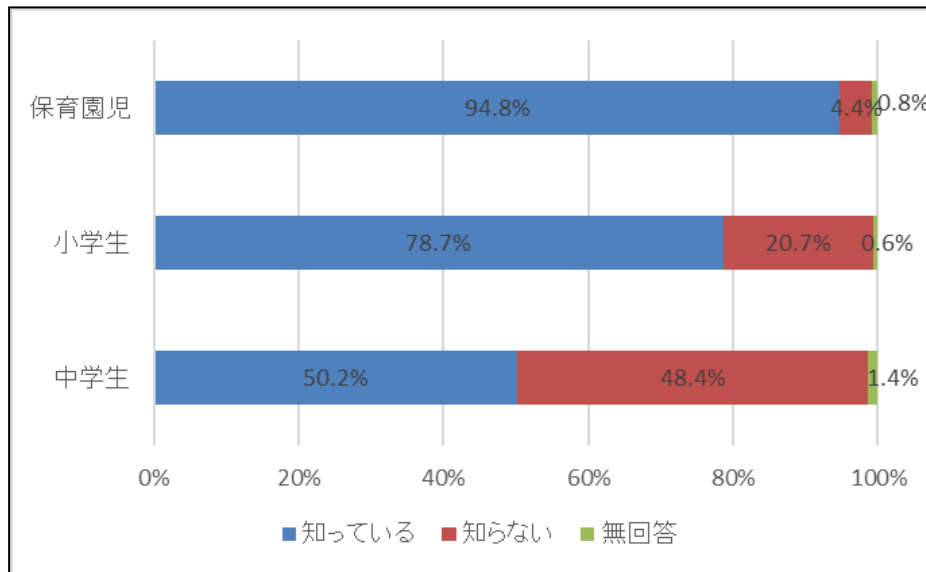
中学生 ■学校以外で、1か月に読む本の冊数の割合

（平成24年度調査）月2冊以下 59.6%→（平成29年度）1割減

2 第二次計画の成果

（1）「毎月23日は、ノーテレビデー・ノーゲームデー・家族で読書の日」 取組の認知度

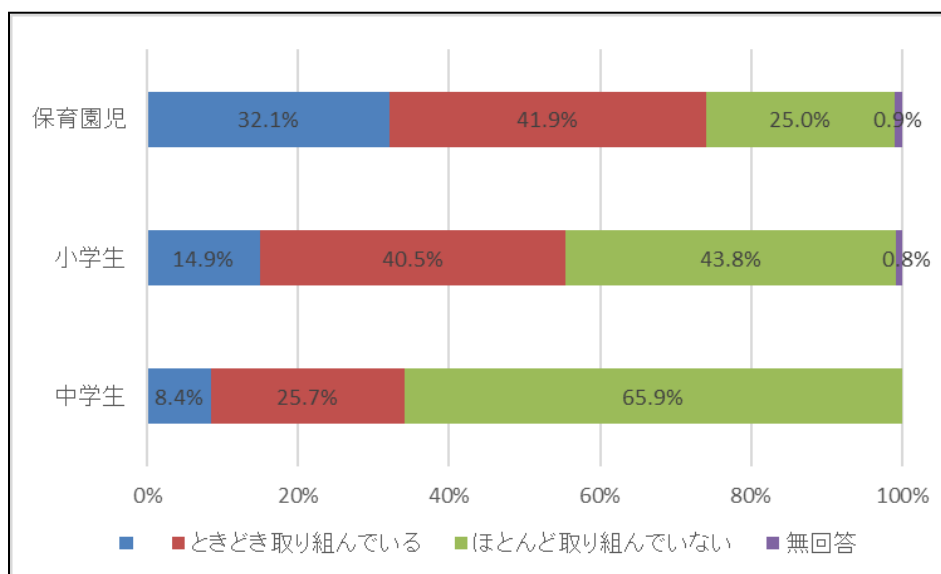
- 質問 村では「毎月23日は、ノーテレビデー・ノーゲームデー・家族で読書の日」として、取り組んでいます。知っていましたか。



平成29年度『南箕輪村における子どもの読書活動に関するアンケート調査結果』より

第二次計画で初めて掲げた取組でしたが、「毎月23日は、ノーテレビデー・ノーゲームデー・家族で読書の日」という取組項目について、保育園児 94.8%、小学生 78.7%、中学生 50.2%が「知っている」と回答しました。

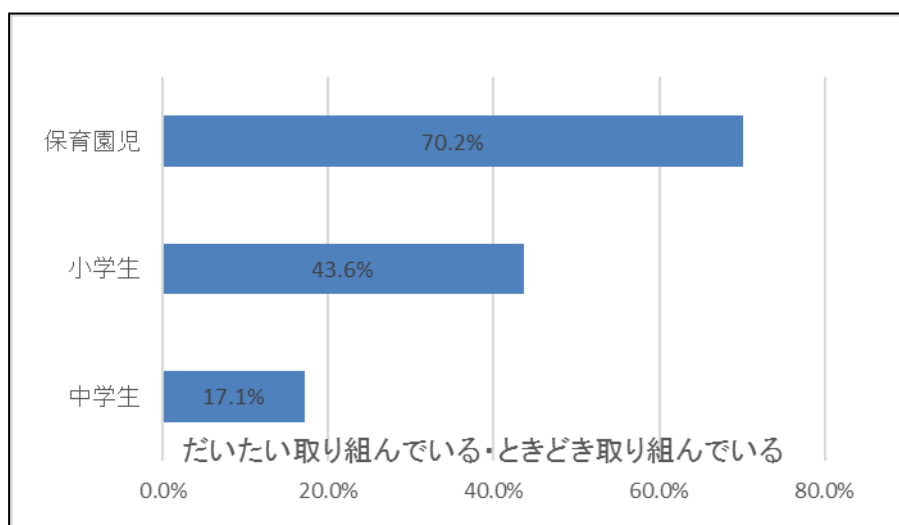
- 質問 上記の質問で「知っている」と答えた方で、「毎月23日は、ノーテレビデー・ノーゲームデー・家族で読書の日」のいずれかに、ご家庭で取り組んでいますか。



平成29年度『南箕輪村における子どもの読書活動に関するアンケート調査結果』より

取組項目については認知されている一方で、毎月23日の取組を「知っている」と回答した人のうちでも、「だいたい取り組んでいる」「ときどき取り組んでいる」が保育園児で74.0%、小学生 55.4%、中学生 34.1%でした。

■ 調査回答者全体に占める「毎月23日は、ノーテレビデー・ノーゲームデー・家族で読書の日」取組割合



毎月23日の取組を「知らない」と回答した人も含めた調査回答者全体に占めた割合で見ると、「だいたい取り組んでいる」「ときどき取り組んでいる」と回答した人は、保育園児で70.2%、小学生で43.6%、中学生で17.1%であり、学年があがるにつれて取組が少なくなっています。

(2) 第二次計画の数値目標達成状況

第二次計画では、「子どもの読書活動に関するアンケート調査」を基に、推進のための取組の目安として数値目標を掲げました。家庭での読書推進をするため、保育園児は「全く読まない」を含む「週2回以下」、小中学生は「全く読まない」を含む「月2冊以下」の回答の割合合計が、平成24年度の数値から「1割減」になるように目標を設定しました。

保育園児：「家で週に絵本を読んでもらう回数」の割合

内容	平成24年度	数値目標	平成29年度
週2回以下	37.2%	(1割減) 33.5%	44.3%

小学生：「学校以外で、1か月に読む本の冊数」の割合（マンガや雑誌をのぞく）

内容	平成24年度	数値目標	平成29年度
月2冊以下	35.4%	(1割減) 31.9%	41.7%

中学生：「学校以外で、1か月に読む本の冊数」の割合（マンガや雑誌をのぞく）

内容	平成24年度	数値目標	平成29年度
月2冊以下	59.6%	(1割減) 53.7%	69.9%

「1割減」を数値目標にしましたが、平成29年度のアンケート調査結果では、保育園児、小学生、中学生とおよそ「2割増」という結果になりました。家庭での読書の回数や、1か月に読む本の冊数を増やす目標でしたが、結果的に少なくなっていることがわかり、目標の達成はできませんでした。

3 保育園・学校・地域における子どもにおける取組・成果と課題

(1) 保育園における子どもの読書活動

＜ 取組・成果 ＞

- ＜新規＞家庭で絵本を選ぶ参考にしてもらうため「推薦絵本リスト」の配布や保育士が各年齢にあったお薦めの絵本を紹介する「絵本だより」を定期的に配布しました。
- ＜新規＞毎月23日の「ノーテレビデー・ノーゲームデー・家族で読書の日」の取組として玄関先に掲示をして、おたよりで保護者に知らせました。また、この日は読み手(担任)を交代しての読み聞かせの実施や、「取組カード」の配布など各園で工夫をしました。
- ＜新規＞新たな試みとして読書週間を年2回設けました。家庭で絵本を読んでもらう機会を増やし「読書カード」への記入や、保護者から感想も寄せていただきました。
- ＜新規＞地方創生交付金により、各園の絵本や集団の読み聞かせに適した大型絵本を充実することができました。
- 週一度、保育園や図書館の絵本を家庭に貸し出して、親子で絵本を楽しんでもらうよう取り組みました。
- 登園後クラスごとに絵本の読み聞かせを実施しました。
- 各園の実情に応じて、読み聞かせに使用した絵本を玄関先に展示して、保護者や園児に絵本の紹介をしました。
- 保護者懇談会などの機会に、家庭における読み聞かせの重要性について伝え、理解を促すおたよりを配布しました。

＜ 課題 ＞

絵本の選び方を紹介した「おたより」や「推薦絵本リスト」を配布しても見ていないためか、子どもの発達に合った絵本選びができていない家庭があります。また、子どもが自分で絵本を読めるようになるにつれ保護者が絵本の読み聞かせを止めてしまう傾向があります。近年はメディアに触れる機会が大変多くなっているため、親子で関わり絵本を読むことの大切さやコミュニケーションを深めること(読んでくれた人の声や思い出が心に残っていくこと)が子どもの心の成長にどう関係していくかを分かりやすく保護者に伝え、正しく理解してもらう必要があります。

(2) 学校における子どもの読書活動

ア 小学校における読書活動

＜ 取組・成果 ＞

- ＜新規＞各学校の実情に合わせて、毎月23日の「ノーテレビデー・ノーゲームデー・家族で読書の日」の取組をおたよりで紹介、校内放送で呼びかけるなどの啓発を行いました。23日には、貸出数を「2冊増やす」という取組も行いました。
- 各学校の実情に応じて、週1～2回一斉読書(朝読書*)を実施しました。静かに読書に励んでおり、

授業前に心を落ち着かせてから学校生活に入っていくことができました。

- 図書館利用のオリエンテーション*や、読書週間*・読書旬間*に読書に関連したイベントを実施しました。具体的には読書郵便*、ペープサート*による劇、パネルシアター*、影絵、コラボ献立*、イラストコンテスト*、ビブリオバトル*、図書館クイズ、私の心にのこった本、しおりのプレゼント、図書委員や先生方による推薦図書の紹介や読み聞かせ、地域ボランティアによる読み聞かせ、授業に関連した図書の展示など、児童が読書に興味を持つようなイベントを各学校の実情に応じて実施しました。
- 授業で図書館を利用する場合には、積極的に新刊本、教科書関連本、話題本の紹介や読み聞かせを行いました。
- 各学校の実情に合わせて、親子読書推進のため、授業参観などに合わせ、スペースの広い廊下を利用して図書の展示を実施するなど、家庭での読書活動を促進しました。
- 家庭への働きかけとして、読書週間や読書旬間中、「読書カード」を作成して、児童には読んだ本の読書記録を記入、保護者の方には一緒に読書をした感想の記入をお願いしました。
- 各教科の学習を進める上で必要な参考図書の充実を図り、授業に活用しました。
- 地域のボランティアの協力により、読み聞かせなどの児童の読書活動を充実させることができました。
- 定期的に学校図書館だよりを発行しました。
- 本を探しやすくするため、配架の工夫をしました。
- 一部の時間帯を地域開放している南部小学校図書館では、おはなし会や廃棄雑誌のプレゼントの実施、社会開放向けの図書館だよりの発行などを行い、図書館の利用促進に努めました。

＜ 課題 ＞

- 児童が「絵本」に続き、自ら「物語」を楽しめるようになるには、読書力を身につけていくことが必要です。高学年になるにつれ読書離れの傾向が見られるため、何を讀んだら良いか迷っている児童に、「推薦図書リスト」を作成・提供していく必要があります。
- 毎月23日の「ノーテレビデー・ノーゲームデー・家族で読書の日」の取組が定着していません。少しでもメディアに関わる時間を少なくするためには、保護者の協力が必要です。
- 児童数が増えているため、一層の図書の充実とともに、古くなった図書の入替が必要です。
- 地域開放を行う南部小学校図書館では、児童書の充実に伴い、一般書のスペースが少なくなってきました。書架に限りがありますが、親子での図書館利用を促すには一般書の充実も必要です。

イ 中学校における読書活動

＜ 取組・成果 ＞

- ＜新規＞平成27年度からはミニ選書会*を実施しました。「自分たちで読む本を自分たちで選ぶ」体験を通して、本の取り扱いや図書館への関心を高める取組を行いました。
- ＜新規＞毎月23日の「ノーテレビデー・ノーゲームデー・家族で読書の日」の取組をおたよりで紹介しました。また平成28年度は「ノーメディアデー」に学校で取り組み、メディアに振り回されないように呼びかけました。
- ＜拡充＞週1～2日一斉読書(朝読書)を15分間実施していましたが、平成28年度から特別日課以外

は全て一斉読書実施になりました。毎朝一斉読書になったことで、生徒も心を落ち着けて読書に取り組めるようになりました。

- 〈拡充〉図書館掲示板を使い、購入図書・推薦図書の紹介、各種ポスターや新聞等の展示や掲示を行い、図書館からの情報を随時提供しました。毎日「司書のつぶやき」も掲示し、特集コーナーの更新や委員会活動のお知らせや校内での出来事等も紹介し、掲示板が目に残るように工夫しました。
- 学校図書館に親しんでもらうため、図書館オリエンテーションを実施しました。利用のきまりと情報検索についてのしおりを配布しました。
- 読書週間・読書旬間には、読書に関連したイベントを実施しました。具体的には図書委員会（※以下、委員会）作成のしおりのプレゼント、委員会によるおすすめ本紹介カードの掲示、各クラスへのブックデリバリー*、週間中の放課後開館、生徒の読書体験の情報交換など生徒が読書に興味を持つようなイベントを実施しました。
- 読書の傾向を知るため、読書記録による調査を行い、図書購入の参考にしました。
- 生徒の心の糧になる図書や読書意欲を喚起させるとされる図書、最新のデータが掲載されている図書を購入して、図書資料の充実を図りました。また要望のあった図書の購入や、村図書館から借り受けを行い、図書の提供をしました。
- 定期的に学校図書館だよりを発行しました。
- 季節のポスターの掲示や、図書の面出しを増やして、生徒が図書館に親しみを持てるような装飾や配架を工夫しました。

＜ 課題 ＞

- 一斉読書の本は、家庭からの持ち込みも許可しているため、図書館を全く利用しない生徒もいます。原作本や携帯小説*・ライトノベル*も多く読まれており、読解力の低下も危惧されます。生徒の発達段階を考慮した読み聞かせやブックトークを行い、「中学生に読ませたい本」にも目を向けさせる必要があります。
- 「ノーテレビデー・ノーゲームデー・家族で読書の日」の取組が浸透していません。アンケート結果の「本を読まない」という理由として「読みたい本がない」と答えた生徒が多くいるということから、校内での選書体験を継続して、読みたい本を一緒に探していくという機会が必要です。
- 図書館を使った調べ方・情報の取捨選択の仕方・まとめ方を、著作権にも触れながら学ぶ時間が確保されていないのが現状です。生徒が図書館を有効に活用できるように、調べ学習のためのレファレンス演習が必要です。加えて、館内でタブレットの利用を可能にするなど、様々な形の情報を収集しやすくなるような環境作りが必要です。
- 地域のボランティアに読み聞かせをお願いする機会を持てなかったため、今後は状況に応じてボランティアと連携・協力して、生徒の読書活動を推進していく必要があります。
- 蔵書数が「学校図書館図書標準*」に達していないため、図書の充実を図るとともに保存スペースや設備の整備について検討していく必要があります。

(3) 地域における子どもの読書活動

ア 図書館における読書活動

＜ 取組・成果 ＞

- ＜新規＞平成21年度から開始したファーストブック事業＊に続いて、平成25年度から3歳児を対象にセカンドブック事業＊が始まりました。会場では、楽しそうに絵本を読む親子の姿が見られました。
- ＜新規＞平成25年度より「本に出会う」きっかけの1つとして、年1回読書感想文コンクールを実施しました。「良書」と出会う目的で実施していますが、感想文には「他の作品も読みたい」と読書の広がりを感じさせる感想が寄せられました。
- ＜新規＞子どもが楽しみながら、幅広いジャンルの本と出会えるように平成28年度から「読書 DE ビンゴ」、「読書通帳」等のイベントを実施しました。楽しみながら参加できるため好評でした。
- 乳幼児向けのおはなし会、幼児向け・小学低学年向けの定期的なおはなし会を実施しました。幼児向け・小学低学年向けのおはなし会では、地域ボランティアの協力を得て、地元の昔話も含めバラエティに富んだ内容で実施できました。
- 出前講座として、子育て支援センター、こども館、地区公民館、子育てサークル、放課後児童クラブ等でおはなし会を実施できました。
- 図書の貸出を通じて、保育園、学校、保健センター等の読書活動を支援することができました。
- 定期的に図書館だよりを発行しました。
- 平成23年度から平成28年度の図書館年代別利用状況は次のとおりです。
幼児の利用は、平成26年に少なくなっていますが、その後少し回復傾向にあります。小学生については利用人数・貸出点数ともに増えています。中学生については、貸出利用は少ないですが、閲覧室で学習するなどの利用がありました。

(貸出状況:利用者人数)

(単位:人)

対象	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
幼児	4,192	4,070	4,264	3,761	3,818	3,869
小学生	5,162	5,154	4,996	5,117	5,286	5,305
中学生	1,147	1,133	1,074	934	1,114	1,080

(貸出状況:貸出点数)

(単位:点)

対象	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
幼児	15,437	15,084	16,139	14,311	14,460	14,537
小学生	18,482	18,796	18,428	19,290	20,012	20,128
中学生	3,080	3,238	3,176	2,797	3,423	3,475

＜ 課題 ＞

- 幼児・小中学生は保育園・学校以外に塾や習い事、部活動に忙しいだけでなく、共働き家庭が増え、

保護者も仕事や余暇活動に忙しい状況です。開館25周年を迎え、このような状況下でも、時間を割いてでも利用したくなるような「魅力的な地域の公共図書館」を子どもたちや保護者のニーズを把握しながら、充実させていく必要があります。

○「4月23日」(子ども読書の日*)には毎年イベントを行い、毎月23日の「ノーテレビデー・ノーゲームデー・家族で読書の日」には、図書館内でもDVDの視聴をやめて、「ノーメディア」について保護者に呼びかけをしてきましたが、大きな普及につながりませんでした。

イ 保健センターにおける読書活動

＜ 取組・成果 ＞

○乳幼児健診において、7か月児に加え、3歳児にも絵本や紙芝居の読み聞かせの時間を取り入れました。絵本の読み聞かせの重要性を伝える機会となりました。

○発達・子育て支援の教室の中で、絵本や紙芝居などの読み聞かせを取り入れることで、絵本に対する興味が高まり徐々に集中して聞けるようになりました。

＜ 課題 ＞

3歳児健診での読み聞かせは母子分離の状態で行うため、読み聞かせに慣れている子とそうでない子の違いが見られました。絵本を通しての親子のコミュニケーションの大切さ、絵本を読むことで子どもの心が豊かになることなどの家庭での読み聞かせの重要性について、また、発達段階に応じた絵本の選び方を保護者向けに啓発していく必要があります。

第3章 南箕輪村における子どもの読書活動の現状

～子どもの読書活動に関するアンケート調査～

計画の策定にあたり、南箕輪村の子どもたちの読書活動に関する現状を把握するため、次のとおりアンケート調査を実施しました。詳細については、資料編を参照ください

「前回」として記載してある数値は平成24年度実施のアンケート調査結果です。※今回新たに追加した質問には「前回」の記載がありません。

調査時期:平成29年10月中旬～下旬

調査対象:村内保育園児と保護者 695 人 回答 594 人(回収率 85.5%)

村内小学生 1,012 人 回答 888 人(回収率 87.7%)

村内中学生 454 人 回答 426 人(回収率 93.8%)

調査方法:保育園児と保護者 調査用紙を家庭に持ち帰り、保護者が回答

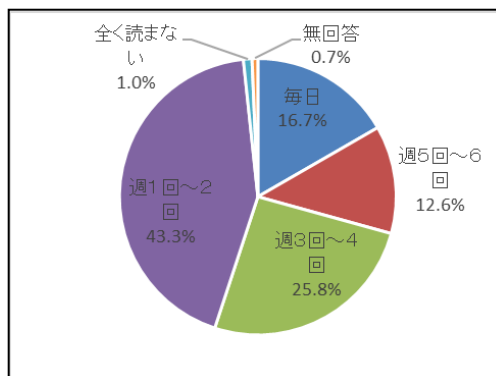
小学1年生～小学3年生 調査用紙を家庭に持ち帰り、保護者と回答

小学4年生～小学6年生・中学生 クラスごと担任が立会い、学校で一斉実施

(保育園児の状況)

■ お子さんにご家庭で週どのくらい絵本を読んであげていますか。

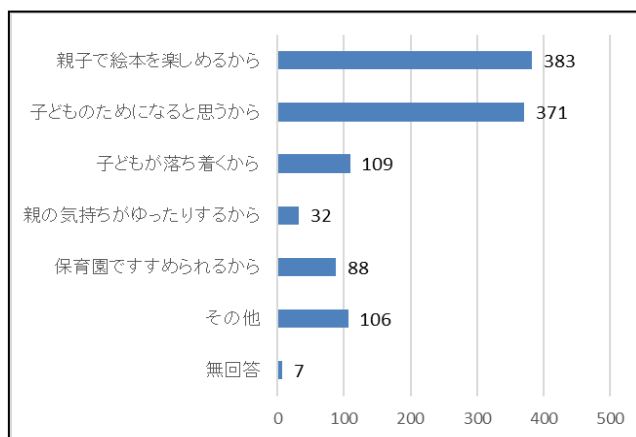
回数	選択数	割合	前回
毎日	99	16.7%	23.1%
週5回～6回	75	12.6%	12.5%
週3回～4回	153	25.8%	27.0%
週1回～2回	257	43.3%	36.0%
全く読まない	6	1.0%	1.2%
無回答	4	0.7%	0.2%
計	594	100.0%	100.0%



「週1回～2回」が43.3%、ついで「週3回～4回」が25.8%、「毎日読む」も16.7%ありました。ただし、前回の調査結果(平成24年度)と比べると、「毎日読む」が23.1%→16.7%と減っており、「週1回～2回」が36.0%→43.3%と増えています。

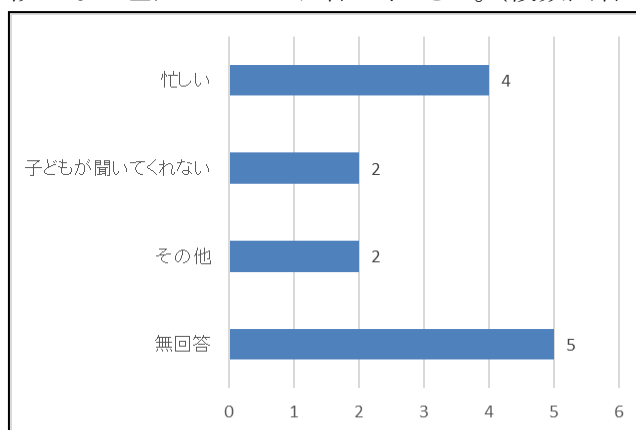
■ 「読んでいる」と答えた方は、絵本を読んでいる理由についてお答えください。(複数回答可)

回答	選択数
親子で絵本を楽しめるから	383
子どものためになると思うから	371
子どもが落ち着くから	109
親の気持ちがゆったりするから	32
保育園ですすめられるから	88
その他	106
無回答	7
計	1096



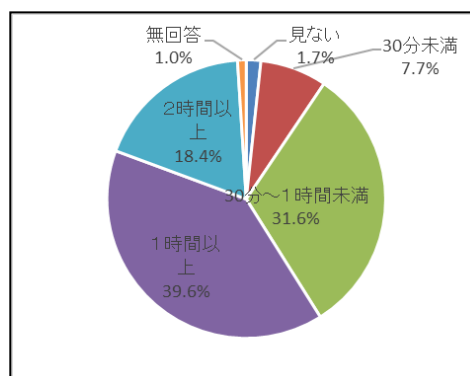
■ 「全く読まない」と答えた方は、読まない理由・読めない理由についてお答えください。(複数回答可)

回答	選択数	前回
忙しい	4	3
子どもが聞いてくれない	2	1
その他	2	2
無回答	5	0
計	13	6



■ 平日、お子さんがテレビやDVDを見る時間やネット系動画を見る時間は1日合計どのくらいですか。

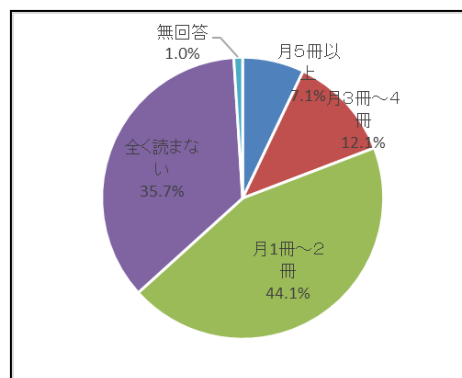
回答	選択数	割合	前回
見ない	10	1.7%	2.1%
30分未満	46	7.7%	8.1%
30分～1時間未満	188	31.6%	32.0%
1時間以上	235	39.6%	39.7%
2時間以上	109	18.4%	17.9%
無回答	6	1.0%	0.2%
計	594	100.0%	100.0%



「1時間以上」が最も多く 39.6%、ついで「30 分～1 時間未満」が 31.6%、「2時間以上」も 18.4%ありました。前回の調査結果と大きな変化はありませんでしたが、未満児の調査結果で、「1 時間以上」が 51.9%あったことから、未満児の時から半数以上の園児がテレビやDVDなど視聴しています。

■ 保護者の皆さんは、お子さんへの読み聞かせ以外で、本や雑誌を1か月合計どのくらい読みますか。

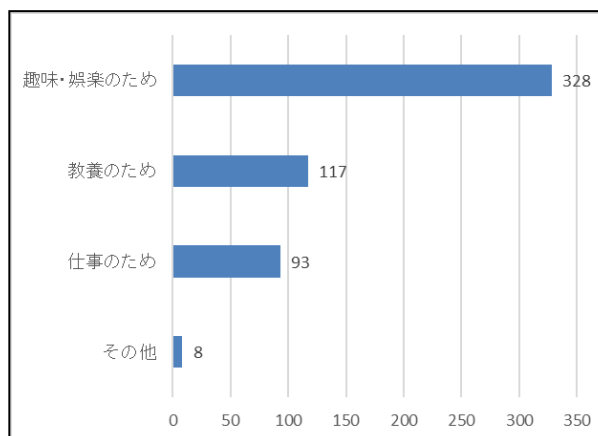
回答	選択数	割合	前回
月5冊以上	42	7.1%	8.9%
月3冊～4冊	72	12.1%	14.8%
月1冊～2冊	262	44.1%	57.0%
全く読まない	212	35.7%	19.1%
無回答	6	1.0%	0.2%
計	594	100.0%	100.0%



「月1冊～2冊」が 44.1%と高く、「全く読まない」が 35.7%と続きました。前回の調査結果と比べると、「全く読まない」が 19.1%→35.7%と大幅に増えており、「読まない理由・読めない理由」として、「忙しい」との回答が多くあげられました。ただ「全く読まない」と答えた人でも、子どもさんへの読み聞かせは「毎日」(30人)、「週 5 冊～6冊」(28人)、「週3～4冊」(53人)、「週1冊～2冊」(99人)がしています。

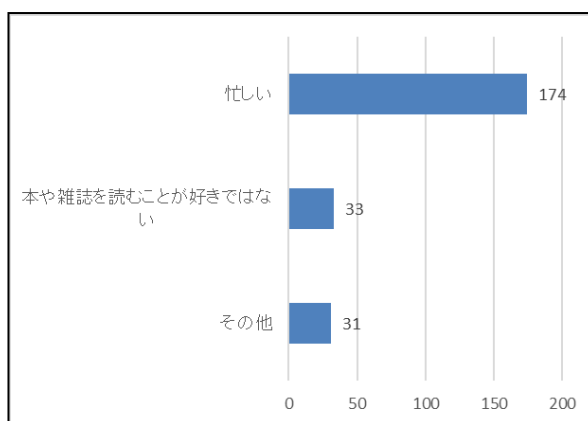
■ 「本や雑誌を読んでいる」と答えた方は、本や雑誌を読む理由についてお答えください。(複数回答可)

回答	選択肢
趣味・娯楽のため	328
教養のため	117
仕事のため	93
その他	8
計	546



■ 本や雑誌を読まない理由・読めない理由についてお答えください。(複数回答可)

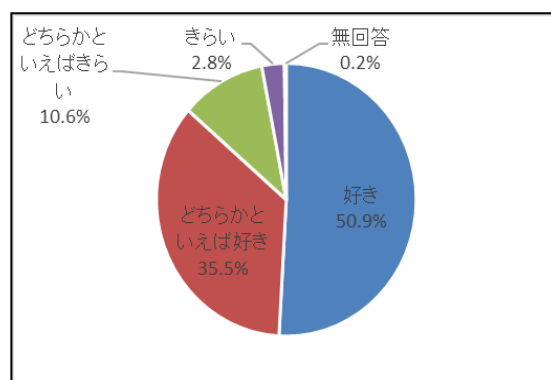
回答	選択肢	前回
忙しい	174	80
本や雑誌を読むことが好きではない	33	9
その他	31	14
計	238	103



(小学生の状況)

■ あなたは本を読むことが好きですか。

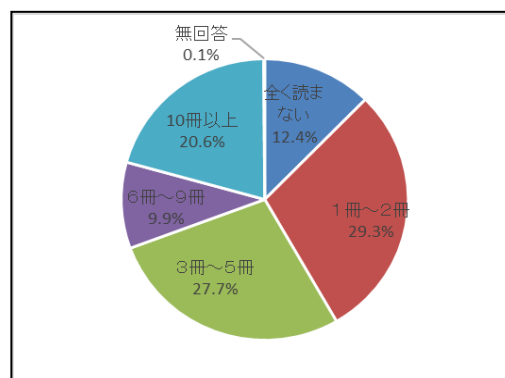
回答	選択数	割合	前回
好き	452	50.9%	54.1%
どちらかといえば好き	315	35.5%	36.9%
どちらかといえばきらい	94	10.6%	6.7%
きらい	25	2.8%	2.3%
無回答	2	0.2%	0.0%
計	888	100.0%	100.0%



前回の調査結果と比べると、「好き」「どちらかといえば好き」が 91.0%→86.4%とやや減っており、「どちらかといえばきらい」「きらい」が 9.0%→13.4%とやや増えています。

■ 学校以外で、最近1か月に本を何冊読みましたか。(マンガや雑誌をのぞく)

回答	選択数	割合	前回
全く読まない	110	12.4%	12.2%
1冊～2冊	260	29.3%	23.2%
3冊～5冊	246	27.7%	25.5%
6冊～9冊	88	9.9%	17.0%
10冊以上	183	20.6%	22.0%
無回答	1	0.1%	0.1%
計	888	100.0%	100.0%

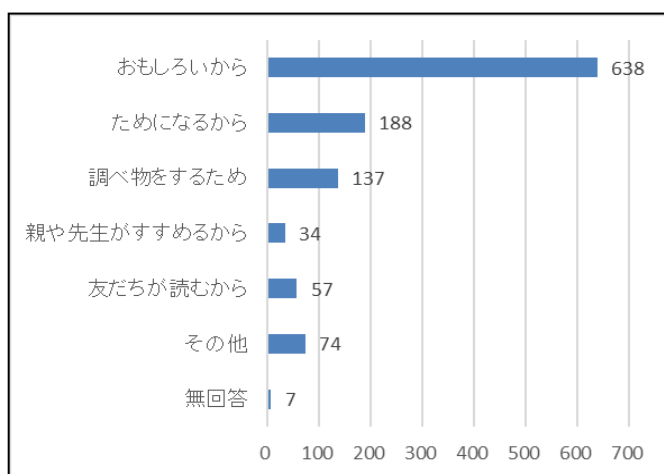


「1冊～2冊」が最も多く 29.3%、ついで「3冊～5冊」が 27.7%、「10冊以上」も 20.6%もいました。前回の調査結果と比べると、「全く読まない」は 12.2%→12.4%と横ばいで、「1冊～2冊」が 23.2%→29.3%と増えています。「6冊～9冊」が 17.0%→9.9%と減っているため、冊数だけで見ると小学生が「学校以外

で、1か月に読む冊数」はやや減っています。

■ 「本を読んだ」と答えた方は、本を読む理由についてお答えください。（複数回答可）

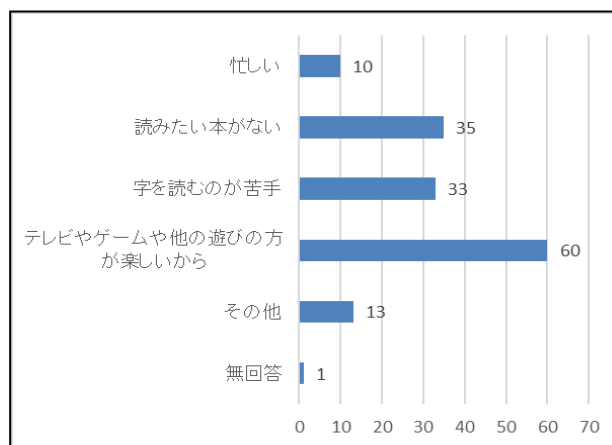
回答	選択数
おもしろいから	638
ためになるから	188
調べ物をするため	137
親や先生がすすめるから	34
友だちが読むから	57
その他	74
無回答	7
計	1,135



「友だちが読むから」(57人)、「親や先生がすすめるから」(34人)と、先生や友達からの影響で、本を読んでいる人もいたことがわかりました。

■ 「全く読まない」と答えた方は、本を読まない理由・読めない理由についてお答えください。（複数回答可）

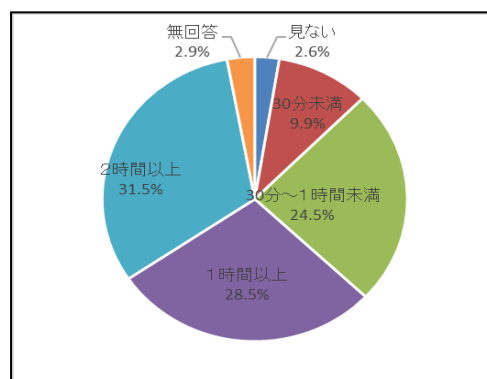
回答	選択数	前回
忙しい	10	23
読みたい本がない	35	33
字を読むのが苦手	33	14
テレビやゲームや他の遊びの方が楽しいから	60	40
その他	13	19
無回答	1	1
計	152	130



「読まない理由」「読めない理由」として、「忙しい」(10人)という回答より、「テレビやゲームや他の遊びの方が楽しい」(60人)、「読みたい本がない」(34人)、「字を読むのが苦手」(33人)という答えている人が多いことがわかりました。

■ 平日、テレビやDVDを見る時間やネット系動画を見る時間は1日合計どのくらいですか。

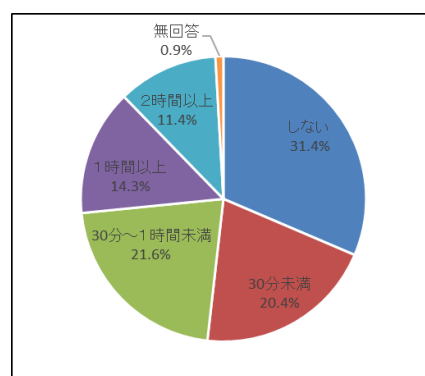
回答	選択数	割合	前回
見ない	23	2.6%	2.6%
30分未満	88	9.9%	9.0%
30分～1時間未満	218	24.5%	26.7%
1時間以上	253	28.5%	33.8%
2時間以上	280	31.5%	26.6%
無回答	26	2.9%	1.3%
計	888	100.0%	100.0%



前回の調査結果と比べると、「2時間以上」が 26.6%→31.5% (280人)とやや増えています。平日に限定しているにもかかわらず、小6では 40.7% (61 人)が「2時間以上」テレビや動画を視聴していることがわかりました。

■ 平日、ゲーム機やパソコン、携帯電話やスマートフォンでゲームをする時間は1日合計どのくらいですか。

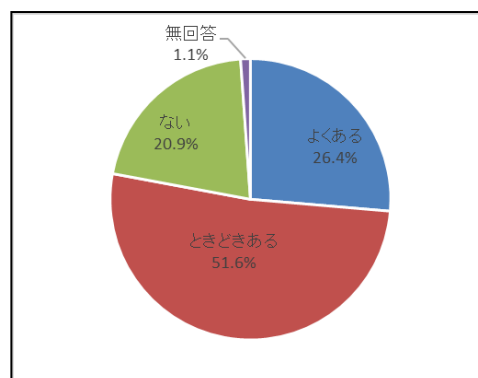
回答	選択数	割合	前回
しない	279	31.4%	37.9%
30分未満	181	20.4%	23.5%
30分～1時間未満	192	21.6%	21.8%
1時間以上	127	14.3%	10.9%
2時間以上	101	11.4%	5.6%
無回答	8	0.9%	0.3%
計	888	100.0%	100.0%



「しない」が一番多く、31.4%を占めました。前回の調査結果より 37.9%→31.4%と減っています。前回の調査結果では、「1時間以上」「2時間以上」が 16.5%でしたが、今回の調査結果では 25.7% (228 人)とゲームをする人が増えていることがわかりました。平日限定の質問でしたが、「テレビやDVDの視聴」、「ゲーム」とともに「2時間」と回答した人が 8.7% (77人)いました。

■ 読んでおもしろかった本を、友だちや家族に話したことがありますか。

回答	選択数	割合
よくある	234	26.4%
ときどきある	458	51.6%
ない	186	20.9%
無回答	10	1.1%
計	888	100.0%

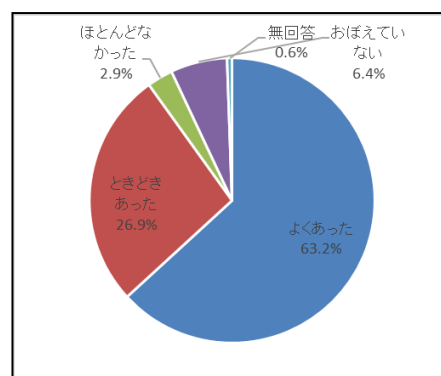


「よくある」「ときどきある」と 78.0%の人が、自分が読んだ本について、友だちや家族に話していること

がわかりました。

■ 小さい時、本を読んでもらったことがありますか。

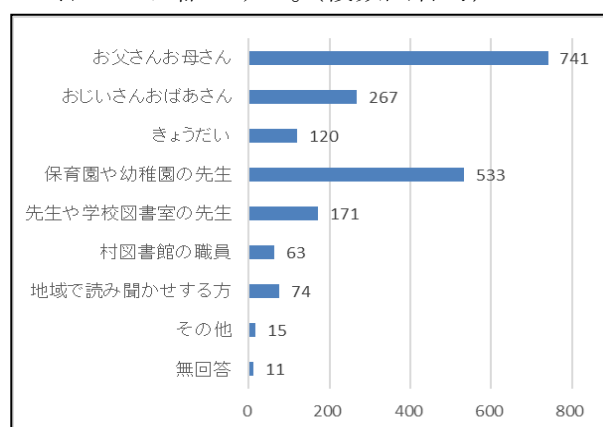
回答	選択数	割合	前回
よくあった	561	63.2%	63.2%
ときどきあった	239	26.9%	28.3%
ほとんどなかった	26	2.9%	2.8%
おぼえていない	57	6.4%	5.7%
無回答	5	0.6%	0.0%
計	888	100.0%	100.0%



「よくあった」「ときどきあった」と答えた人が、前回の調査結果(91.5%)同様 90.1%と多く、「ほとんどなかった」「おぼえていない」は 9.3%にとどまっています。

■ 「よくあった」「ときどきあった」と答えた方は、本を読んでもらったのは誰ですか。(複数回答可)

回答	選択数	前回
お父さんお母さん	741	736
おじいさんおばあさん	267	327
きょうだい	120	114
保育園や幼稚園の先生	533	577
先生や学校図書室の先生	171	193
村図書館の職員	63	70
地域で読み聞かせする方	74	93
その他	15	22
無回答	11	2
計	1,995	2,134

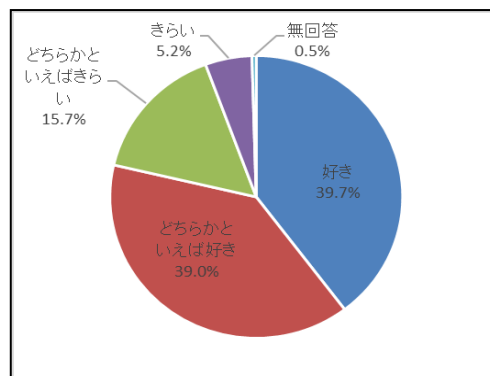


「お父さんやお母さん」「おじいさんやおばあさん」「きょうだい」など「家族」を答えた人が多くいました。前回の調査結果に比べると、「おじいさんおばあさん」が327人→267人とやや減っています。「保育園や幼稚園の先生」「先生や学校図書室の先生」など「先生」と答えた人も「家族」同様多いこともわかりました。「地域で読み聞かせする方」と答えた人もいます。

(中学生の状況)

■ あなたは本を読むことが好きですか。

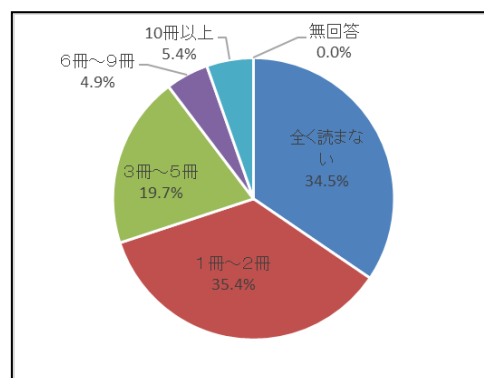
回答	選択数	割合	前回
好き	169	39.7%	52.7%
どちらかといえば好き	166	39.0%	38.9%
どちらかといえばきらい	67	15.7%	6.2%
きらい	22	5.2%	2.2%
無回答	2	0.5%	0.0%
計	426	100.0%	100.0%



前回の調査結果では、「好き」「どちらかといえば好き」が 91.6%でしたが、今回は特に「好き」が 52.7%→39.7%と減っており、「どちらかといえばきらい」「きらい」が 8.4%→20.9%と増えています。

■ 学校以外で、最近1か月に本を何冊読みましたか。(マンガや雑誌をのぞく)

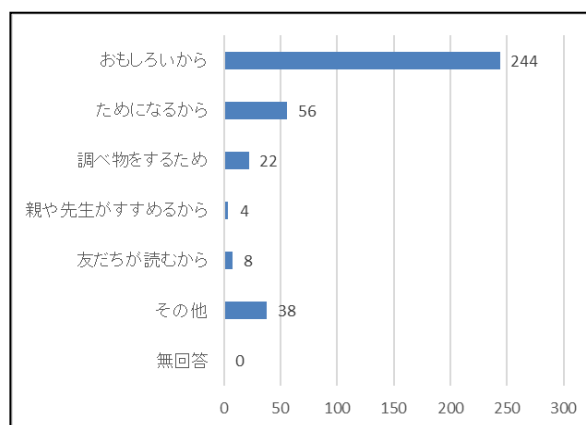
回答	選択数	割合	前回
全く読まない	147	34.5%	17.4%
1冊～2冊	151	35.4%	42.2%
3冊～5冊	84	19.7%	24.5%
6冊～9冊	21	4.9%	8.6%
10冊以上	23	5.4%	7.3%
無回答	0	0.0%	0.0%
計	426	100.0%	100.0%



前回の調査結果と比べると、「全く読まない」が 17.4%→34.5% (147人)と大幅に増えています。小学生の調査結果では「全く読まない」が 12.4%であるため、中学生になると家庭での読書習慣がなくなる人が増えることがわかりました。

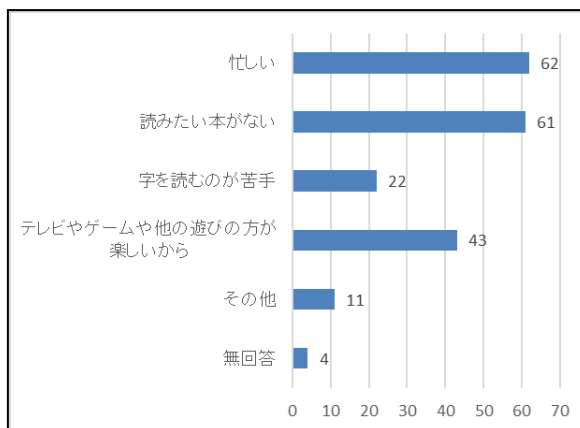
■ 「本を読んだ」と答えた方は、本を読む理由についてお答えください。(複数回答可)

回答	選択数
おもしろいから	244
ためになるから	56
調べ物をするため	22
親や先生がすすめるから	4
友だちが読むから	8
その他	38
無回答	0
計	372



■ 「全く読まない」と答えた方は、本を読まない・読めない理由についてお答えください。(複数回答可)

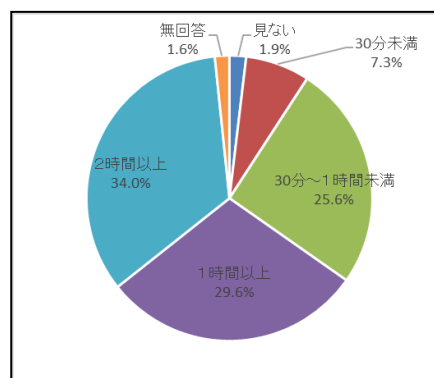
回答	選択数	前回
忙しい	62	35
読みたい本がない	61	24
字を読むのが苦手	22	7
テレビやゲームや他の遊びの方が楽しいから	43	30
その他	11	8
無回答	4	3
計	203	107



「全く読まない」「全く読めない」理由として、「忙しい」(62人)と同様「読みたい本がない」(61人)が多くあげられています。「テレビやゲームや他の遊びの方が楽しい」(43人)も増えています。

■ 平日、テレビやDVDを見る時間やネット系動画を見る時間は1日合計どのくらいですか。

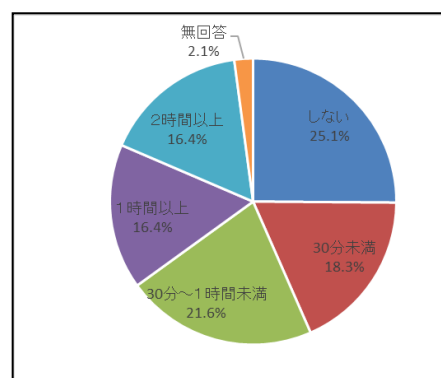
回答	選択数	割合	前回
見ない	8	1.9%	2.6%
30分未満	31	7.3%	8.0%
30分～1時間未満	109	25.6%	21.1%
1時間以上	126	29.6%	37.0%
2時間以上	145	34.0%	31.2%
無回答	7	1.6%	0.1%
計	426	100.0%	100.0%



前回の調査結果と比べると、「1時間以上」は 37.0%→29.6%(126人)と減りましたが、「2時間以上」は 31.2%→34.0%(145人)とやや増えています。

■ 平日、ゲーム機やパソコン、携帯電話、スマートフォンでゲームをする時間は1日合計どのくらいですか。

回答	選択数	割合	前回
しない	107	25.1%	29.2%
30分未満	78	18.3%	18.7%
30分～1時間未満	92	21.6%	21.5%
1時間以上	70	16.4%	17.4%
2時間以上	70	16.4%	12.3%
無回答	9	2.1%	0.9%
計	426	100.0%	100.0%

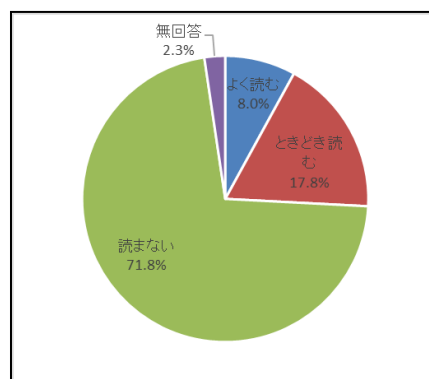


「しない」は、前回の調査結果の 29.2%→25.1%と減り、およそ7割の人がゲーム機やパソコン、携帯電話、スマートフォンに触れていることがわかりました。前回の調査結果と比べると、「1時間以上」は 17.4%→16.4%(70人)と減りましたが、「2時間以上」は 12.3%→16.4%(70人)とやや増えています。そのうち、「テレビやDVDの視聴」も「2時間」と答えた人が 13.1%(56人)いました。

■ パソコンや携帯電話、スマートフォンで「電子書籍」(電子ブック、デジタル書籍)を読みますか。

(※マンガはのぞく)

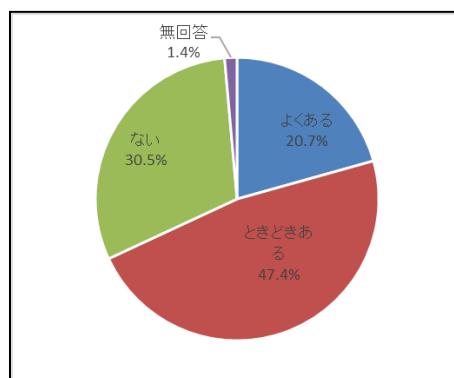
回答	選択数	割合
よく読む	34	8.0%
ときどき読む	76	17.8%
読まない	306	71.8%
無回答	10	2.3%
計	426	100.0%



「電子書籍を読まない」が7割を占めましたが、「よく読む」「ときどき読む」も「マンガをのぞく」という質問だったにもかかわらず、25.8% (110人) いました。

■ 読んでおもしろかった本を、友だちや家族に話したことがありますか。

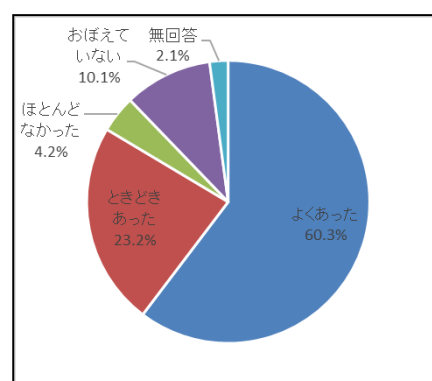
回答	選択数	割合
よくある	88	20.7%
ときどきある	202	47.4%
ない	130	30.5%
無回答	6	1.4%
計	426	100.0%



「よくある」「ときどきある」が 68.1% となっており、中学生になっても「本」についての話題が友だちや家族のなかであがっていることがわかりました。

■ 小さい時、本を読んでもらったことがありますか。

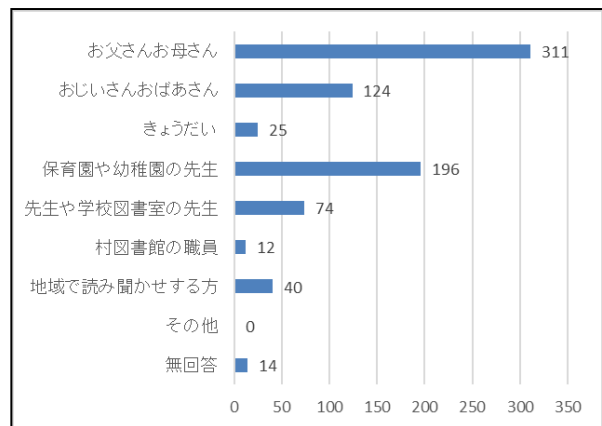
回答	選択数	割合	前回
よくあった	257	60.3%	46.7%
ときどきあった	99	23.2%	34.8%
ほとんどなかった	18	4.2%	6.2%
おぼえていない	43	10.1%	12.3%
無回答	9	2.1%	0.0%
計	426	100.0%	100.0%



「よくあった」「ときどきあった」と答えた生徒が 83.5% と多く、「ほとんどなかった」「おぼえてない」は前回の調査結果の 18.5% → 14.3% より少なくなっています。「よくあった」が前回の調査結果の 46.7% → 60.3% に増えていることから、幼い頃の読み聞かせが定着してきていることが伺えます。

■ 「よくあった」「ときどきあった」と答えた方は、読んでくれたのは誰ですか。(複数回答可)

回答	選択数	前回
お父さんお母さん	311	319
おじいさんおばあさん	124	102
きょうだい	25	26
保育園や幼稚園の先生	196	277
先生や学校図書室の先生	74	153
村図書館の職員	12	14
地域で読み聞かせをする方	40	49
その他	0	6
無回答	14	1
計	796	947



小学生同様、お父さんやお母さん、おじいさんやおばあさんなどの「家族」と答えた人が多く、「先生」や「地域で読み聞かせをする方」と答えた人も多くいます。中学生になっても、小さい頃誰に本を読んでもらったか、記憶に残っていることがわかりました。

第4章 第三次計画の基本方針・目標

1 基本方針

子どもが自主的に読書活動を行うようになるためには、乳幼児期から保護者とともに読書に親しむことが大切です。赤ちゃんの頃から話しかけたり、わらべうたや遊び歌を歌ったりすることなどで、ことばやコミュニケーション能力を育てていきます。ことばが増える時期には対話を大切にしながら絵本を読みあうことで、子どもは幼いうちから読書を楽しむようになります。また発達の段階に応じて、保護者に加え、子どもの読書活動を支援する大人が子どもと継続的に読書体験を共有することにより、子どもは読書意欲を高めていくことができます。

第三次計画策定のために実施したアンケート調査では、「読んでおもしろかった本を、友だちや家族に話したことがありますか」という質問に、「よくある」「ときどきある」と小学生の 78.0%、中学生の 68.1%が回答しています。また「小さい時、本を読んでもらったことがありますか」という質問には、「よくあった」「ときどきあった」と小学生の 90.1%、中学生の 83.5%が回答しています。「よくあった」「ときどきあった」と回答した小中学生に「読んでくれたのは、誰ですか」と質問したところ、小中学生ともに両親、祖父母、兄弟などの「家族」だけでなく、保育園や学校の「先生」や「地域で読み聞かせをする方」をあげています。このことから、成長の過程において、子どもたちが様々な場面で「人」とかかわり、読書体験を重ねている様子が伺えます。

また同じアンケート調査で、「平日、テレビやDVDを見る時間やネット動画を見る時間」について質問したところ、「1時間以上」「2時間以上」と保育園児の 58.0%、小学生の 60.0%、中学生の 63.6%が回答しています。「平日、ゲーム機やパソコン、携帯電話やスマートフォンでゲームをする時間」の質問には、「1時間以上」「2時間以上」と、小学生の 25.7%、中学生の 32.8%が回答しています。メディアに夢中になり過ぎると、子どもの心身の発達に大きな影響を与えるという指摘もあるため、読書の大切さを伝えると同時にメディアの利用についての呼びかけが引き続き必要です。

これらの点に着目して、第三次計画では、南箕輪村に育つ子どもたちが「人」とかかわる中で「本」と出

会い、「本」を通じて「人」と「人」がつながり、その取組を村全体に広げていく展開を目標に掲げて進めていきます。そのために、家庭、保育園、学校、地域(図書館、保健センター、子どもの支援活動拠点等)が連携し、メディアとの関わり方についても呼びかけながら、子どもが読書を楽しめる体験ができる機会を積極的につくる継続的な支援が必要です。

南箕輪村では、当村に育つすべての子どもが読書を通じて楽しみや喜びを味わい、豊かな心を育みながら、自ら学び考える力を養い、やがては困難に直面したときも乗り越えていける「生きる力」を身につけられることを大切にしてきました。今後もこのことを大切に、子どもの成長に応じて読書に親しめる具体的な取組を掲げ、子どもの読書活動を推進するとともに、読書活動に必要な環境整備に努めます。

本計画は、南箕輪村における「子どもの読書活動」を推進するための基本的な考えや取組を示したものです。

本計画の取組期間は、平成30年度から平成34年度までの5年間です。

2 目標

●計画の基本目標

～ 伝えよう！ つながろう！ 広げていこう！ 読書のよろこび ～

●取組項目

取組1 “読書のよろこび、わかちあってつながろう！”



子どもから家族へ



家族から子どもへ



子どもから先生へ



先生から子どもへ



子どもから地域の大人へ



地域の大人から子どもへ



保護者から先生や地域の大人へ



先生や地域の大人から保護者へ



子どもから子どもへ



保護者から保護者へ

取組2 “毎月23日は、メディアの利用を控え、読書でつながる楽しい日にしよう！”

●成果目標について

第二次計画では、取組成果の目安として数値目標を設定しましたが、目標の達成を数値だけで判断することは難しい面もあることが分かりました。子どもたちが読書を通じて「生きる力」を身につけていくためには、数値だけでは把握できない“子どもの読書への興味や関心を高めていく具体的な取組を展開できたか”ということに重点を置くことも必要です。

そこで、第三次計画の取組成果は、子どもの読書状況についてアンケート調査を継続し、その傾向を把握するとともに、子どもの読書活動を推進する関係機関で「取組事例」を収集することで考

察します。「取組事例」については、定期的に関係機関で情報を共有しながら、読書活動を推進していきます。

第5章 第三次計画推進のための方策

1 家庭における子どもの読書活動の推進

(1) 子どもの読書活動の推進における家庭の役割

家庭は、子どもにとって健やかな育ちの基盤となる場所です。子どもが読書の習慣を身につけるために、最も身近な存在である保護者からの積極的で継続的な働きかけが大きな役割を果たします。親子で読書に親しむ時間を持って、家族間のコミュニケーションを深めるように、家庭の中で保護者が子どもの行動を温かく見守り、環境づくりをすることが大切です。また読書の時間を大切にするためにも、子どもがテレビ、ゲーム、インターネット、スマートフォン、メールに長時間費やすことがないようメディアの適切な利用を心がけたいものです。

(2) 家庭における子どもの読書活動推進のための具体的な取組

重点的取組 家族での読書体験の充実

○保育園、学校、地域(図書館、保健センター、子育て支援活動拠点等)において、家庭での読書活動の啓発と、図書情報の提供を行います。

重点的取組 毎月23日の取組推進

○保育園、学校、地域(図書館、保健センター、子育て支援活動拠点等)において、家庭での毎月23日の取組について呼びかけるなどの啓発を行います。

取組

- 乳幼児健診・相談等の保護者が集まる機会を利用して、絵本を通して親子のコミュニケーションを図ることの重要性を説明して、家庭での読書環境づくりの大切さを呼びかけます。
- 図書館において乳幼児、幼児・小学校低学年向けおはなし会の開催や、親子向け読書講演会を開催して、親子で読書に親しむ機会をつくれます。

2 保育園における子どもの読書活動の推進

(1) 子どもの読書活動の推進における保育園の役割

保育園は、家庭と同様、子どもが多く時間を過ごす場であり、全ての子どもに等しく絵本を提供できる最適な場所です。絵本を通して、豊かな言葉を知り、絵本の楽しさを日常的に体験できる場所であり、乳幼児期において読書習慣の基礎を築く、重要な役割を担っています。

(2) 保育園における子どもの読書活動推進のための具体的な取組

重点的取組 保育士から園児への読み聞かせの充実

- 登園後、クラスごとに絵本の読み聞かせを実施します。
- あらゆる機会に年齢、発達段階、季節に応じた絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、園児が楽しめるように工夫します。

重点的取組 毎月23日の取組推進

- 毎月23日の取組として玄関先にポスターを掲示したり、おたよりで保護者に知らせます。また、この日は読み手(担任)を交代しての読み聞かせや、「取組カード」を配布するなど各園で工夫をして、取組の啓発を行います。

取組

- 園児の成長や環境にあった読書支援を大切にします。
- 各園の実情に応じて、保護者、園児向けに読んだ絵本の展示をします。
- 引き続き週に1度、保育園や図書館の絵本を家庭に貸出して、親子で絵本を楽しむように取り組みます。家庭に貸し出す際には、「絵本カード」に借りた絵本を記入して、年間を通して読んだ絵本がわかるように記録します。読書週間(年2回)を実施して、「読書カード」への記入や保護者に感想を寄せてもらいます。
- 家庭で絵本を選ぶ参考にしてもらうため「推薦絵本リスト」や、保育士が各年齢にあったお薦めの絵本を紹介する「絵本だより」を定期的に配布して、読書活動の啓発に努めます。「推薦絵本リスト」は必要に応じて見直していきます。
- 保護者懇談会などの機会に、家庭における読み聞かせの重要性について保護者の理解を促すために、直接伝えたり、おたよりを配布します。
- 年度末に家庭へ絵本を貸し出す取組についての感想を保護者から寄せてもらい、抜粋した感想をまとめ、家庭へ配布します。
- 各園の実情に応じて、図書館や南部小学校図書館と連携を深め、園児が公共図書館を利用することで、たくさんの本にふれて、図書館に興味を持つきっかけを作ります。また絵本の読み聞かせやパネルシアターを司書が演じるなど、積極的におはなしの世界を楽しむ機会を作ります。
- 保育士は読み聞かせの技量を高める研修に参加します。
- 好奇心旺盛な乳幼児期に好きな分野の絵本を探せるよう幅広い分野の絵本を用意し、園児が自由に絵本に触れられ、絵本を選ぶ環境を整備します。

3 学校における子どもの読書活動の推進

(1) 子どもの読書活動の推進における学校及び学校図書館の役割

学校は、国語をはじめ教科等におけるさまざまな学習活動を通じ、子どもが読書習慣を身につけ、読書活動を通して、読解力や豊かな心を育てていくための大きな役割を担っています。

また学校図書館は、自発的主体的な学習活動を支援し教育課程に寄与する学習・情報センターとして、また自由な読書活動や読書指導の場である読書センターとして、学校教育における中核機関であることから、児童・生徒にとって読書に親しみ、知りたいことを本で調べる力を培える大切な場所です。子どもが読書に親しむ態度を育成し、読書習慣を身につけていく上で、大きな役割を担っています。

(2) 学校における子どもの読書活動の推進のための具体的な取組

ア 小学校における子どもの読書活動の推進

重点的取組 児童や先生による図書紹介

○各学校の実情に応じて、先生方や図書委員会による推薦図書の紹介や読み聞かせ、読書郵便、「私の心にのこった本」などの実施をします。

重点的取組 毎月 23 日の取組推進

○各学校の実情に合わせて、毎月23日の取組についておたよりでの紹介や、校内放送で呼びかけるなど啓発を行います。

取組

- 児童の成長や環境にあった読書指導をします。
- 各学校の実情に応じて、一斉読書や読書活動の時間を作り、一層の普及を図ります。
- 学校図書館の利用のきまりを伝え、図書館の活用に向けた図書館オリエンテーションを実施します。
- 各学校の実情に応じて、読書週間・読書旬間に読書に関連したイベントを実施します。具体的にはペープサートによる劇、パネルシアター、影絵、コラボ献立、イラストコンテスト、ビブリオバトル、スピードくじ、図書館クイズ、授業に関連した図書の展示など、児童が図書館に足を運びたくくなるような工夫や読書に興味を持つような読書に関連したイベントの充実を図ります。
- 小学校高学年以上になると読書離れの傾向が見える現状を踏まえ、「推薦図書リスト」の作成や新刊図書の紹介を通して、小学校高学年以上の児童が読書活動に興味や関心を持つように取り組めます。
- 親子読書推進のため、「家庭読書カード」に感想を寄せてもらったり、図書館だよりで呼びかけたりするなど、各学校の実情に応じて、家庭での読書を促進します。
- 蔵書構成の見直しを図り、読書意欲を喚起させる図書や各教科等の学習を進める上で必要な最新のデータが掲載されている参考図書を購入して、図書資料の充実を図ります。
- 学習指導要領＊の改定に対応した図書を収集します。
- 地域開放を行っている南部小学校図書館では、おはなし会や廃棄雑誌のプレゼントや図書館だよりの発行などを行い、図書館の利用促進を図ります。
- 地域ボランティアと連携・協力して、児童の読書活動を推進します。
- 将来児童が地域の図書館を活用できるように図書館との連携を深め、村図書館の利用について呼びかけます。

- 定期的に学校図書館だよりの発行をします。
- 児童が図書館に親しめるような明るい雰囲気づくりや本を探しやすくするための配架の工夫をこらし、各学校の特色を生かした環境整備に努めます。

イ 中学校における子どもの読書活動の推進

重点的取組 生徒による図書紹介

- 図書委員会企画で「私の心に残った本」の実施や「おすすめ本紹介カード」の作成をします。お互いに紹介しあうことで、人と本・本と人を結ぶ取組を行います。

重点的取組 選書体験機会の充実

- ミニ選書体験を実施して、本の取り扱いの見直しと本や図書館への興味・関心を高める取組を行います。

重点的取組 毎月23日の取組推進

- 毎月23日の取組についておたよりでの紹介や、校内放送で呼びかけるなどの啓発を行います。

取組

- 生徒の成長や環境にあった読書指導をします。
- 毎月23日の取組を呼びかけていきます。
- 毎朝、一斉読書(朝読書)に15分間取組、一層の普及を図ります。また、一斉読書のクラス利用を推進して、図書館への来館を促します。
- 学校図書館に親しんでもらうため、図書館利用についての図書館オリエンテーションを実施します。
- 読書週間・読書旬間の実施、生徒の読書体験の情報交換など生徒が読書に興味を持つような読書関連イベントの充実を図ります。
- 図書館掲示板を使い、購入図書・推薦図書の紹介、各種ポスターや新聞等の展示や掲示を行い、図書館からの情報を随時提供します。
- 図書館からインターネットに接続できる環境を整えて、利便性の向上を図ります。加えて、将来的には館内でタブレットの利用を可能にするなど、様々な形の情報を収集しやすくなるような環境作りが必要です。
- 蔵書数が「学校図書館図書標準」に達していないため、資料の充実を図るとともに、保存スペースの確保や設備の整備に努めます。
- 生徒の心の糧になったり、読書意欲を喚起させられる図書や、最新のデータが掲載されている図書を購入して、図書資料の充実を図ります。
- 小学校や村図書館など関係機関と連携し情報交換や相互貸借を行います。
- 調べ学習のための演習を行い、著作権について学びながら、資料・情報活用の学びを図ります。
- 学習指導要領の改定に対応した図書を購入します。
- 必要に応じて、地域ボランティアグループと連携・協力して、生徒の読書活動を推進します。
- 生徒が図書館に親しめるような明るい図書館の雰囲気づくりや本を探しやすくするための配架の工夫をこらし、学校の特色を生かした環境整備に努めます。

4 地域における子どもの読書活動の推進

(1) 図書館における子どもの読書活動の推進

ア 子どもの読書活動の推進における図書館の役割

図書館は、子どもが豊富な蔵書の中から自由に本を選び、読書の楽しみを知ることができる場所です。子どもや保護者、保育園、学校、保健センター、地域の子育て支援活動拠点等の読書活動を支援する地域における読書施設として、中心的役割を担っています。

イ 図書館における子どもの読書活動推進のための具体的な取組

重点的取組 子どもや大人による図書紹介

○読書週間を中心に、「おすすめ本POP」イベントを実施して、子どもや大人からの推薦図書を館内に掲示します。

重点的取組 読書エピソードの紹介

○取組成果としての読書エピソードを参考事例として、図書館だよりで紹介します。

重点的取組 毎月23日の取組推進

○毎月23日の取組をPRするポスターを作成します。また「毎月23日の取組」についての参考事例を図書館だよりや広報などで紹介します。

取組

- 「読書感想文コンクール」や「本 DE ビンゴ」などを実施して、本に親しむきっかけを作ります。
- 乳幼児・小学生を対象にしたおはなし会を実施します。
- あらゆる場所で子どもがおはなしを楽しめるよう、おはなし会の出前講座を実施します。
- 南箕輪村ゆかりの作者や関連図書を収集・展示して、おはなし会などでそれらの作品を取り上げます。
- 健康福祉課と連携して、7か月児相談にて乳児にファーストブックを、3歳児健診にて幼児にセカンドブックを贈り、保護者のみなさんに幼いうちからの家庭内における読書習慣づくりのきっかけを作ります。
- 幅広い年齢層の子どもにとって魅力的な図書館であるよう、アンケートを実施して、子どもの興味や知的好奇心を満たす図書や調べ学習に必要な図書資料を収集します。
- 年齢別子ども向け「推薦図書リスト」を関係機関と作成して提供します。また「推薦図書リスト」や「読書にまつわるエピソード」を紹介した図書館だよりを発行します。
- 支援の必要な子どもにあった図書の提供や、館内利用の際の介助をします。
- 保育園、学校、保健センター、子育て支援センター、こども館、地区公民館等の読書活動を支援できる図書の収集に努めます。
- 中高生向けヤングアダルト図書*の充実を図ります。
- 外国語を母国語とする子どもや保護者及び外国語に興味がある子どもが必要とする外国語の絵

本の収集をします。また県立図書館や近隣の図書館から借り受けも行い、必要に応じて保育園や学校に提供します。

○地域ボランティアグループと連携・協力し、子どもの読書活動を推進します。

○子どもや保護者、関係機関からの読書活動の相談に応じられるよう図書館員の資質の向上に努めます。

○図書館だより、新聞、広報紙、ケーブルテレビ、ウェブサイトにて、読書活動の啓発を行います。

○子どもが図書館に親しめるような明るい図書館の雰囲気づくりや本を探しやすくするための配架の工夫をこらし、落ち着いて読書ができる環境整備に努めます。

(2) 保健センターにおける子どもの読書活動の推進

ア 子どもの読書活動の推進における保健センターの役割

保健センターは、子育て中の親子が訪れて、心身の発育や発達についての相談に応ずる場所です。子育てに関心のある時期に、絵本の読み聞かせの大切さや絵本を通してのコミュニケーションの大切さを、直接保護者に伝えられる大きな役割を担っています。

イ 保健センターにおける子ども読書活動推進のための具体的な取組

重点的取組 絵本の紹介／家庭での読み聞かせについての呼びかけ

○図書館と連携して、乳幼児健診・相談等保護者が集まる機会に、図書館司書による絵本の紹介、リーフレット等の活用をして、幼い頃からの絵本の読み聞かせの大切さについて伝えていきます。図書館利用につながるような紹介も行います。

重点的取組 毎月23日の取組推進

○絵本の読み聞かせをする機会に、家庭での毎月23日の取組について呼びかけるなどの啓発を行います。

取組

○発達・子育て支援教室の中で、子どもの発達段階に応じた絵本や紙芝居の読み聞かせを取り入れて、保護者とともに子どもの成長を支援していきます。

(3) 地域の子育て支援活動拠点等における子どもの読書活動の推進

ア 子どもの読書活動の推進における地域の子育て支援拠点等の役割

地域の子ども支援活動拠点等は、子どもと保護者、子どもと地域の大人、子ども同士が交流を深めながら、子どもの成長を見守る場です。コミュニケーションを通じて、心を通わせあう経験のなかで、絵本の読み聞かせや本を読みあう喜びを体験の1つとして提供することができる大きな役割を担っています。

イ 地域の子育て支援活動拠点等における子ども読書活動推進のための具体的な取組

重点的取組 地域の大人による読み聞かせの充実

○活動のなかに、必要に応じて絵本や紙芝居の読み聞かせを取り入れて、読書の楽しさや喜びを分かち合う機会を作ります。

重点的取組 毎月23日の取組推進

○絵本や本の読み聞かせをする機会に、家庭での毎月23日の取組について呼びかけるなどの啓発を行います。

第6章 広報・啓発活動

1 広報・啓発の推進

(1) 「子ども読書の日」「毎月23日の取組」を中心とした広報・啓発の推進

○「子ども読書の日」(4月23日)に、子どもの読書活動についての関心と理解を深めるために子どもを対象とした行事を実施して、広報・啓発活動を行います。

○「毎月23日の取組」について広く周知するため、新たに啓発用のポスターを作成します。関係機関と連携を図りながら、広報・啓発活動を行います。

(2) 情報の提供

子どもや保護者が本を選ぶ参考になるように、保育園だより、学校図書館だより、図書館だより、広報紙、ケーブルテレビ、ウェブサイト等で「推薦図書」や「読書にまつわるエピソード」を紹介します。

第7章 関係機関との連携・協力

1 連携体制の整備

本計画の推進に当たり、家庭、保育園、学校、地域(図書館、保健センター、地域の子育て支援活動拠点等)が連携・協力を図るため、関係者からなる「南箕輪村子ども読書活動推進会議」を設置し、必要に応じて推進会議を開き、総合的な推進体制が整備されるように努めます。

2 関係機関との連携・協力

(1) 家庭、保育園、学校、地域(図書館、保健センター、地域の子ども支援活動拠点等)の連携協力

子どもの読書活動を一層推進していくためには、家庭、保育園、学校、地域(図書館、保健センター、地域の子ども支援活動拠点等)がそれぞれの役割を果たしつつ、連携・協力していくことが重要です。このため、関係者が情報交換等や様々な相談を行います。

(2) 地域ボランティアとの連携協力

子どもの読書活動について、地域ボランティアと連携して、子どもの読書活動を支援します。また地域ボランティアが十分に子どもの読書活動を支援できるよう図書や図書情報の提供をします。

資料編

用語解説（五十音順）

●朝読書

学校で全校一斉に行う朝の読書運動。読書を習慣づける目的で始業前に読書の時間を設ける運動。

●イラストコンテスト

自分で読んだ、もしくは好きな本(コミックをのぞく)の表紙や挿絵から絵を描き、おすすめの文を付けて、視覚的に本のイメージをふくらませて読書の輪を広げ合う活動。

●オリエンテーション

組織の仕組み・ルールなどについて説明すること。学校図書館においては、新学期に学校図書館の利用方法や決まりについて、児童・生徒に説明すること。

●学習指導要領

文部科学省が告示する教育課程の基準。

●学校図書館図書標準

公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準。

●携帯(ケータイ)小説

携帯電話を使用して執筆し、閲覧される小説。

●子ども読書の日

4月23日。平成13年12月「子どもの読書活動推進に関する法律」により施行。子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的としている。

●コラボ献立

絵本や児童書に登場する料理を学校給食で提供する企画。

●セカンドブック

ファーストブックの次に子どもに贈る絵本。当村では、3歳児を対象に3歳児健診時に絵本を1冊贈っている。

●選書会

図書館で入れて欲しい本を児童や生徒が自分たちで選ぶ取組。

●読書週間

一般的には10月27日から11月9日(文化の日を中心とした2週間)まで、読書を推進する行事が集中して行われる期間。当村では、各学校により独自に目的や期間(1週間)を設定して取り組んでいる。

●読書旬間

読書週間より長い期間で読書を推進する行事をする場合に言う。読書週間同様、各学校により独自に目的や期間(10日～14日)を設定して取り組んでいる。

●読書郵便

友達へ向けて読んだ本の感想を葉書に絵と文章で書き、読書の輪を広げる活動。

●パネルシアター

パネル布を貼った舞台に絵を貼ったり外したりしておはなしや歌を展開する。

●ノーテレビデー・ノーゲームデー

テレビを見たり、ゲームをしない日

●ビブリオバトル

本の紹介コミュニケーションゲーム。「知的書評合戦」とも呼ばれている。

●ファーストブック

赤ちゃんに贈る初めての絵本。当村では、7か月児を対象に7か月児相談時に絵本を1冊贈っている。

●ブックデリバリー

学校図書館の本をクラスに置いて、「学級文庫」を一時的に設置すること。

●ペープサート

紙人形劇。人物や動物の絵などを書いた絵に棒をつけたものを動かして演じる。

●ヤングアダルト図書

13歳～18歳(中学・高校生を中心とした年代)までの人たちに提供する本。

●ライトノベル

総じて書き下ろしの文庫やノベルスの形態で刊行される、概ねアニメ・マンガ調のイラストが表紙や挿絵として付いている。主にティーンエイジャー向けに書かれたエンターティメント小説の総称。